

第19回

(通算3565回) 例会
令和5年11月30日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

RCCについて／TECの報告会

社会奉仕委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

11月 ローターリー財団月間



後列左から 亀山 恵介 教諭、河合 伸和 教諭、長谷部 繁 教諭、中村 祥征 教諭
前列左から 福井 敬 会長、鈴木 一真 校長、柳原 茂 社会奉仕委員長

会長挨拶

福井 敬 会長

チャットGPTは大変便利ですが、その活用法が学校等の教育現場で問題になっているそうです。ある小学生がチャットGPTを使ってハリー・ポッターシリーズの読書感想文を書いて提出したそうです。それを読んだ先生は、子どもを叱責しなかったそうで、そのことは大きなプラスだと思います。新しい道具を使ってみようとする態度は、教育という観点からもポジティブに捉えるべきだと思います。しかし、人間の記憶というのは非常に脆弱なものです。強い意志を持って学び取ろうという意識がない限り、学びにはなりません。人は経験することにより、五感を刺激し、未知のものも想像することが出来るのではないかと思います。これからの時代は、最新のテクノロジーの裏側には大きな落とし穴があるかもしれないということも教えていく必要があります。そして、実際に体験をさせてあげることが真の学びに繋がっていくのではないかと思います。本日は、先生方に実際の教育現場の実情を話していただくことを楽しみにしています。

TECの紹介

柳原 茂 社会奉仕委員長

TECの活動の目的は、青少年の健全育成で、隊員は豊橋市内の小中学校の教諭78名です。2760地区のRCC第一号として1993年にRIに承認・登録され、本年で30年間共に歩んでいます。

あいさつ

牛川小学校 鈴木 一真 校長

皆さま「ペップトーク」はご存じですか。ペップトークは、リーダーや指導者が仲間や部下、児童生徒に対して、短く分かりやすく、肯定的な言葉を使い魂を震わせることだそうです。大谷翔平選手がWBC決勝戦でチームメイトに言った言葉も素晴らしいペップトークだったそうです。小中学校の教育現場でも、年々様々な意味で多様性を感じる事案が見受けられます。教員もこの様な現状に対応するために、身につけ

なければいけないことが多々あります。そのうちのひとつとして、ペップトークが挙げられます。様々なタイプの子供達に合った言葉で励まし、より良い方向へ主体的に成長させていかなければなりません。そのため我々指導者が、言葉の力を磨き、ペップトーク力を身につけることは、今まで以上に必要になります。

小中のそれぞれの生徒指導研究部長より 各学校の様子を発表

汐田小学校 河合 伸和 教諭

昨年生徒指導提要が改定され、生徒指導の定義が変わっています。例えば学校のルールでは、以前は「ルールだから守れ」という様な管理的なイメージが強かったですが、今は、これが何のためのルールか問いかけたり、自分と他者の存在を考えるツールとして捉えていくかたちが変わっています。ルール自体がおかしければ、子ども達自身でより良いものに変えるという考えを促すものになっています。子ども達の成長を如何に支えていくかが大切になっています。

東部中学校 亀山 恵介 教諭

文科省から出された昨年度の諸課題調査の結果によると、いじめ、不登校の数が過去最多で、豊橋市内でも増えている状態です。また、毎年この時期になると年上の生徒との繋がりによって、深夜徘徊や飲酒、喫煙等の問題行動が増えています。更に、昨今は違法薬物が中学生でも簡単に手に入る世の中になっており、実際市内で検挙されている生徒もいます。これは学校だけの取り組みでは十分ではないと思います。社会全体が、子供を守るためには何が出来るかを考えていくことが重要だと感じています。

新川小学校 中村 祥征 教諭

最近の小中学校の問題として、不登校や暴力行為、トイレでのトラブル、離席等による授業の妨害、特別支援学級の生徒に対するいじめ、他校の児童や中学生と

のトラブルが起きており、それぞれ学年集会や道徳の授業での指導、見回り等を行って対応しています。一方で各校では、中学校と連携してのあいさつ運動や児童集会の時間に全校生徒で遊ぶ時間や一芸披露の場を設ける等の地域や学校を盛り上げる取り組みが行われています。問題行動が目立つのではなく、良いところが目立つ学校が増えてくると良いと思います。

実践発表 校則改訂のプロセス ～生徒と保護者の意見を取り入れた学校創り～
本郷中学校 長谷部 繁 教諭

昨年、生徒指導提要が12年振りに改訂され「校則の運用・見直し」という項目が新たに追加されました。これについて生徒や保護者の関心は高く、不本意に感じる校則に疑問を持ったり、見直しを求める人が出てくるようになりました。そこで、学校、保護者、生徒の意見を聞きながら見直しを進めていこうと考えました。併せて、校則の改訂プロセスを明文化、サイクル化し、変化していく社会状況に柔軟に対応するシステムを立ち上げることになりました。変動する社会と、多様な背景を持つ子ども達が増加している世の中で、自ら考え、責任を持って主体的に行動できる力が必要だと考え、本主題を設定しました。

まず始めに、全校生徒と保護者を対象に、校則・きまりに関するアンケートを実施しました。その後、縦割り会議を実施して全校生徒で話し合いました。生徒は自らの学校生活に関わる問題なので、かなり意欲的で、3年生を中心に活発に話し合いが進みました。会議の結果を受け、生徒会執行部が改定案を作成しました。そして、生徒議会・生徒総会で提案し、生徒会長が決定した内容をまとめ、校長に請願書を提出しました。ここからは生徒の意見を受け、大人が中心となり運営委員会・職員会議・学校協議委員会で議論していく予定です。そして、試行期間を経て校長の承認が得られれば、改定完了となります。

今回の見直しについての振り返りを行った結果、生徒達の、校則・きまりを自分のこととして捉え、より良い学校生活にしていこうという気持ちが伝わりました。今後も現代社会を生きる生徒の実情に適した校則・きまりのあり方を追求していこうと思います。

本日のゲスト

- 豊橋市立牛川小学校 鈴木一真 校長
- 豊橋市立汐田小学校 河合 伸和 教諭
- 豊橋市立東部中学校 亀山 恵介 教諭
- 豊橋市立新川小学校 中村 祥征 教諭
- 豊橋市立本郷中学校 長谷部 繁 教諭

本日のビジター

- 豊橋北RC 1名
- 豊橋南RC 2名
- 豊橋ゴールドデンRC 2名
- 計 5名

ニコニコBOX

山本 勤司 ニコニコ委員

- T E C の先生方よろこぞ豊橋 R C へ。お話し楽しみにしています 福井 敬 会長、伊藤 晴康 幹事
- 本日の例会を担当させていただきます 柳原 茂 社会奉仕委員長
- 本日のプログラム委員長をつとめさせていただきます 岩瀬 清 S.A.A.
- 11/16～20でタイの支援に行ってきました。少しトラブルもありましたが12名全員無事に帰ってきました 福井 敬 会長
- 先日福井会長をはじめとする総勢12名でタイ山岳民族定住化支援事業としてタイへ渡航してまいりました。ベンジャシリRCとの交流と、現地での生の声をお聞きし、豊橋RCとしての事業の成果を体感出来ました。皆様からの多大なるご支援への御礼と共にご報告とさせていただきます プラティープ博士、井上 泰宏 国際奉仕委員長、笠原 元樹 国際奉仕副委員長、森田 通夫、河合 勝男、佐々木 利政、縣 政行、中村 典司、岩瀬 清、井口 貴嗣、伊藤 健一、伊藤 恭三 各会員
- 豊橋市お月見会に投稿した俳句が入賞し、豊橋文化振興財団の高須会員より表彰状をいただきました。ちなみに投稿した俳句は「あれなあに孫が指さす月うさぎ」です 西田 元彦 会員
- 西田先生俳句入賞おめでとうございます。皆さんも豊橋文化の発展に是非ご協力ください。豊橋文化振興財団をご支援ください 高須 博久 会員
- 先般11月28日予てより建設して参りました新設マンションCASA99の竣工を迎え竣工式を執り行いました。これ不動産賃貸事業部の物件は、マンション・アパートメント3棟、パズルパーキング・タワーパーキング2棟、水上ビル賃貸物件2件、合わせて7つの物件となりました。業態変更もまだ道半ば、今後も鋭意精進して参ります 川村 荒治 会員 (順不同)

会長報告

福井 敬 会長

1. 2022-23年度ロータリー財団年次寄付優秀クラブ (総額上位5クラブ) 表彰状が届きました。

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. 地区大会のお礼状が届いています。

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員



「赤とんぼ」

誕生祝い



左から
岩瀬 清 会員 (S.35年11月25日生)
川村 荒治 会員 (S.32年11月18日生)
井上 泰宏 会員 (S.33年11月29日生)
中村勝彦 会員 (S.37年11月30日生)

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者 32名 計算会員数 86名中54名欠席
総会員数 112名 出席率 62.79%

例会予定

- 12月7日(木) 年次総会・ラックペンディング村訪問報告会
- 12月14日(木) イニシエーションスピーチ